

備前市事務事業評価シート

事業の概要				
事業開始年度	昭和46年度～			根拠法令・例規等
総合計画	大項目	基本構想	04 土台となる政策「安全・安心」	消防法令
	中項目	基本計画	05 安全で暮らせるまち	問 担当課(室)
	小項目	施策	16 消防・防災体制の強化	職・氏名
事務事業名	01	消防施設管理事業		電話
				64-1809
				このシート作成に要した時間
				1.0 時間

事業の目的		
対象(誰・何に対して)	地域住民	
目的(何のために)	消防活動を行うため、消火栓、防火水槽などを整備、維持管理及び車両、ポンプ等の備品を整備することにより、火災等の災害を軽減することを目的とする。	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	消防水利の充足と消防機能の確保	

事業の実績			
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	消防施設管理事業	消火栓、防火水槽等消防施設の維持管理	◎
	消防施設備品整備事業	消防車両、小型動力ポンプ等施設管理に必要な備品購入	○

決算額	事業費等		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
	事業費	直接事業費	千円	533	844	26,159
	必要人員費	人員件数	千円	0.07人	540	0.02人
	事業費	費計		1,073	1,002	26,437
	財源	国	支出金			
		受	益者負担			
		繰	入金			
		市	債			
		その他( )				
		一般財源		1,073	1,002	26,437
	受益者負担比率	%	-	-	-	

結果指標	結果指標名	単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
	結果指標量	説明			0
	対前年比	%	-	-	-
	活動コスト	円	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	単位当たりコスト				

事業の成果						
成果指標名	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度目標値	
初年度登録から20年を経過する消防車両台数	目標値(A)	0	0	0	0	0
	実績値(B)	0	0	1	到達目標値	
	達成率(B/A)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	0%	
成果指標設定の考え方・式や説明						
消防車両の更新は、消防力の維持強化に不可欠であるため、老朽車の台数を減らすことを指標とする。なお、20年に設定するのは、車両としては運行距離が少ないため、通常の車両より劣化が少ないと思われるため。						

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください >		Check	
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い <input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
	効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input checked="" type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNP0、ボランティア団体等が参画している	市民参画度	<input type="checkbox"/> 効果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input checked="" type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNP0、ボランティア団体等が参画している
有効性の評価	目的達成度			有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い	

進行年度(H26年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止
		○				
説明	消火栓の設置については、平成21年度から水道法により水道課が担当している。平成26年度は自動車ポンプ車1台を購入予定。					

総合評価		
消火栓、防火水槽などの消防施設は、火災からの被害を減災する施設であることから、その整備及び維持管理は重要な業務である。また、消防車両、可搬ポンプなどの消防資機材の更新や配備は、今後も必要に応じて整備していく必要がある。	総合評価	A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い

平成27年度の方向性・取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止
		○				
取組目標	消火栓、防火水槽は維持管理を重点的に行う。消防車両、可搬ポンプ購入については、21年度で車両9台を更新したため、購入から20年以上経過するような車両はなくなったことから、現状を維持するが、15年を経過する車両が22台あるため、年次的に更新する必要がある。					



事業の目的やその数値目標がある成果指標に留意しな